

会 議 録

会 議 の 名 称		令和7年度第2回上尾市学校給食運営委員会	
開 催 日 時		令和7年8月28日(木) 午後1時30分～午後2時35分	
開 催 場 所		上尾市立中学校給食共同調理場 研修室	
議長(副委員長)氏名		熊坂 由美子	
出席者(委員)氏名		黒木 康文、興野 邦孝、根本 純江、宮田 純生、石田 賢一、廣 美穂、高山 愛、西尾 奈津江、佐藤 博子、大野 里香、鈴木 綾子、高橋 直子、木ノ内 岳人、齋藤 昌斗	
欠席者(委員)氏名		萩谷 健、伊藤 裕之、江原 佳代子、神 陽彦、渋谷 由織	
事 務 局		学校保健課 佐藤課長、東海林副主幹、梨本主査、松居主査 中学校給食共同調理場 荻原所長、棚澤副主幹	
会 議 事 項	1 議 題		2 会 議 結 果
	(1) 令和6年度小中学校給食運営状況について (2) 令和8年度小中学校給食実施計画(案)について (3) その他		承認 承認 承認
議 事 の 経 過		別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会 議 資 料		別添	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 7 年 10 月 31 日 議長(副委員長)の署名 <u>熊坂 由美子</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)			

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 等
佐藤課長 熊坂副委員長	I 第2回上尾市立小学校給食運営委員会 1 開会 2 副委員長あいさつ 3 議事 (1) <u>令和6年度小中学校給食運営状況について</u> 〔事務局より会議資料に基づき説明〕 〈質疑・意見〉 なし (2) <u>令和8年度小中学校給食実施計画（案）について</u> 〔事務局より会議資料に基づき説明〕 〈質疑・意見〉
宮田委員	中学校3年生は卒業式以降の分だけ1・2年生より給食回数が少ないため、その分の給食費は減額されるのか。
事務局	中学3年生の3月分の給食費については、給食費月額から日割りで減額している。
宮田委員	本日中学3年生を対象とする南部校長会テスト（5教科）実施しているが、今年から2学期の始業日が9月1日になったため、生徒は弁当持参でテストを受けている。給食を提供する側にとって負担になるのは理解できるが、保護者からの意見もあり、可能であれば8月の校長会テストの際に3年生だけ給食を出してもらうことはできないか。
事務局	8月の校長会テストの時に3年生だけ給食を出すことについては、ご意見として承るが、現実的には給食設備を稼働させるタイミングなどを考慮すると厳しい面が多いと感じている。
宮田委員	会議資料7ページ目の予算要求単価が400円（中学校）になっているが、保護者負担は変わらないということでよいか。
事務局	予算要求の段階では、価格上昇分は市側で負担し、保護者負担額は据え置きとする方向で要求していく予定である。但し、現在市では既に約1億円の負担をしている中、今後更に価格が上がっていくとなる

	とそこまで市側で負担できるか非常に苦しいところだと思っており、資料の課題のところに記載のとおり、今後保護者負担額の見直しが必要になる場合もありうる。このような状況の中で、保護者負担据え置きで要求はするが非常に厳しい状況にあるかと思っている。また、国の給食費無償化の議論もあるが、その動向は現時点では全く情報がない状況であり、こちらの状況も見ながら随時検討しながら、委員の皆様にも情報提供していく予定である。
熊坂副委員長	令和8年1・2月頃に新年度予算案がまとまった際に改めて議題として取り上げられると思うが、令和7年度の小学校の保護者負担額は270円で実質30円程の補助に対して中学校は保護者負担額が310円で70円程の補助となっており、小中学校で差がある理由は何か。
事務局	実際には小学校で6千万円強、中学校で3千万円強を市が負担している。小中学校の金額差については、元々の小中学校で設定単価なども違っていたりして、それぞれでこの価格でやろうと設定した結果として、今回の差が出てきたものである。初めからこのような差にしようとしてスタートしたものではない。
根本委員	小学校の給食実施回数について献立作成回数から4回分減らすこととしているが、本校の場合、開校記念日が週休日にあたるためここで減らすことができない。また、小学校のため校外学習の日数が学年により異なっており、低学年が午前中の校外学習後給食を食べるとなると別の日に低学年だけ弁当持参になるため、献立作成回数から除く回数を4回から3回に減らすことが可能か。
事務局	暦の関係でこうした状況になる学校も出てくる。一旦持ち帰って検討はするが、給食実施回数が増えるとなると、その分給食費に反映させることにもなりうるので、その点はご了承ください。
熊坂副委員長	学校行事と暦の関係によるものだが、学校によって給食実施回数異なるのは公会計化による公平性の観点から難しく、回数は揃える必要がある。また、回数が増えると予算上が厳しい面がある。一方で今年実際に困っているという現状もある。
宮田委員	本校も今年は開校記念日が祝日にあたり、更に体育祭を土曜日でなく平日開催とした。このため、7月に本校だけ給食を実施しない日が1日あった際に保護者からなぜ本校だけ給食を出さないのかと問合せがあったが、献立表が市内統一なので説明が難しい面があった。
熊坂副委員長	P T Aの方から何かご意見はあるか。
木ノ内委員	保護者負担は給食を食べた回数分であり、給食が出ていない日の分の負担をしていないのであれば、学校によって給食が出る日が異なる日もあっても個人的には問題ないと思う。但し、保護者の中には給食が出ない日の分も負担していると認識してしまっていることもあり得るので、食べていない分の負担はないことを説明してもらえれば良いのではないか。

熊坂副委員長	小学校では 行事があり早めに準備ができる給食にしたい場合、同月内で移動調整することもあるが、中学校は1 1校同じということか。
事務局	中学校では東側と西側で献立を組み換えで実施しているため、1校単位の振替などの対応はできないことをご理解いただきたい。
石田委員	年間の給食実施回数が市で決められており、各学校の行事などの実態にあわせて給食を実施しているため、学校間で異なる日も出てくる場合もあるが、保護者負担の差はないことを、学校と市で情報共有して保護者に伝えられれば理解を得られると思われるので、良い方法があれば今後検討いただきたい。 また、夏休みの校長会テスト時の給食実施要望については、本テストは南部管内1 3市町の中学校が参加しているが、本日のテストにあわせて給食を実施している市があると聞いている。保護者負担の面や生徒が空腹の状態で午後の授業を受けることを考慮し、今回提案させていただいた。但し、どのような形で給食を実施しているのか、上尾市のようにセンター&サテライト方式でなく、小学校のような自校式であれば対応できるのかなどの点について、該当する市から情報収集を行った上で、難しい話であることを理解してはいるが、何かしら良い方法はないか改めて相談させていただきたい。
宮田委員	これまで8月25日頃から2学期が始まっていた時は問題なかったが、2学期の始業式を9月1日に移行する市町村が増えている。南部校長会でも9月のテスト実施を検討したが、9月に修学旅行があるため実施できない自治体もあり、結局8月下旬にテストを実施せざるを得ない状況である。今日のテストでは生徒は弁当を持参しており、暑さで食中毒の心配もあるため、難しい話とは思いますが要望させてもらった。
石田委員	なお、再来年以降は9月になる可能性はあるが、来年については8月27日にテストを実施することが既に決まっている。他市の状況も踏まえながら改めて相談させてもらいたいと考えている。
事務局	一点確認させていただきたいが、テスト実施日は通常の時間割と同じように昼休みなどの時間は確保されているのか。
石田委員	今日のテストは弁当持参のため、通常の授業に比べてお昼時間を短くしている。給食が万が一実施できるということになれば、給食の時間はしっかり確保して臨機応変に時間割を組むことはできる。
事務局	例えば英検などのように、参加団体間で試験時間が決まっていて、変更ができないということはないか。
宮田委員	テストの時間が決まっているので、校長会の中で朝早く試験を開始して午前中に試験を終わらせることも検討したが、保護者負担が増えてしまうことから採用しなかった。また、昼食を食べずに5教科試験を受けることも検討したが、テストが終了する午後1時半過ぎごろに

	暑い中空腹の状態で帰宅させるのは生徒の健康状態を考慮すると心配であったため、結局全校弁当持参で実施することとした。
石田委員	時間の区切りについては、先ほど説明があった通り、ある程度学校裁量に任されているので、開始時刻、昼の時間及び終了時刻についてはある程度幅を持たせてよいことになっている。保護者負担を考慮して、今後改めて相談させて欲しい。
石田委員	令和8年度の予算要求単価を小学校320円、中学校400円で設定するとのことだが、これに伴い教職員の負担は来年度上がるということではどうか。
事務局	これまでの水準の給食を維持したいので、予算要求としては物価高騰状況を踏まえて設定させていただく。このため、教職員の給食費はその分上げさせていただければと考えている。小学校は月5,000円から300円、中学校は月5,950円から500円程値上げさせていただく見込みである。
石田委員	保護者負担については、物価高騰相当分は市が負担することではどうか。
事務局	保護者についても実際にかかっている費用を負担いただくとなると教職員負担分と同額になるが、ここで議論いただきたいのは、保護者負担については別として、物価上昇によりこれだけの費用が実際に必要であることを承認いただけるかという点である。
石田委員	中学校物資専門員会の委員長を務めているが、価格の面でかなり工夫し、できるだけ費用を抑えつつ良い品質のものを調達するよう努力されていると思う。一方で、今後食材価格が安くなるとは思えない状況の中である程度の価格上昇は仕方ないと思う。但し、年度途中での値上げは負担感が増えるところがあるため、1年間を見越した金額を設定するのがよいと思う。
事務局	実際に献立作成を作成いただいている栄養教諭の委員さんからもこのあたりの事情を伺えたら有難い。
佐藤委員	小学校の場合、献立作成にあたり費用面で厳しい状況にあり、例えば、従来、鶏のもも肉を使用していたものを胸肉に変更したりして、なるべく目立たないところで費用を抑えるよう努力しているが、それもいよいよ限界にきているような状況である。また、物資専門委員会などでも新しい食材の検討をする余裕がなく、使用できる食材に限られていきっているものもある。このような状況を少しでも改善するため、予算確保をお願いしたい。
大野委員	中学校でも悩みながら献立を作成している。主要食材で良い食材を使用したくても費用面から安価な食材にせざるを得ないところもある。魚などではサンマや鮭など季節のものを提供していきたいと思うが、費用面から献立に組み入れられないのが現状である。また、季節のものという点では、果物も旬なものを出したいが費用面で断念せざるを得ない。

熊坂副委員長	るを得ない。生徒の食歴を広げてもらうという点からも様々な食材を使用していきたいと考えているので、予算確保をお願いしたい。 小学校実施計画表に新1年生の4月の練習給食2回分を記載していただきたい。 (3) <u>その他</u>
事務局	報告となるが、既にお知らせのとおり、令和7年6月及び7月分の給食費について交付金を活用することにより無償化しているところである。一方で市立の小中学校以外に通学あるいは市立の小中学校に通学し給食停止届の提出により給食を食べていない児童生徒に対する保護者負担軽減事業として、3月分に引続き6、7月分の給食費についても補助することとなった。大部分の保護者が3月分と6、7月分の両方の補助に該当するため、申請手続きの負担も考慮して1回で手続きが済むよう9月を目途に保護者へ通知を出す予定である。 4 その他・連絡事項
事務局	令和8年度からの小学校の給食費無償化について昨年度末より報道されているが、現在のところ国からの補助額も含めて具体的な情報は来ていない。先程小学校の場合320円を来年度必要になるとしているが、一方で令和5年度のものであるが全国平均では1食あたり270円程度の費用がかかっているというデータもある。この場合に市として心配しているのが、国の平均費用270円との差50円分をどうするかという点である。無償化の話がある中で保護者負担についてはなかなか理解が得られないのではないかと考えているが、市の財政状況も踏まえて、委員の皆様には情報提供をさせていただきながら、良い方法についてご意見を頂戴したいと思うので、引続き報道などにも注目いただけたらと考えている。 また、小学校給食の無償化が始まったら、中学校はいつからかということも次の問題として起こってくるかと思われる。学校給食を取り巻く状況が刻々と変わってきている中、価格についても令和7年度の新米がどの程度になるか不透明で、令和6年度から7年度にかけて米の価格が約1.85倍上昇している。また、小麦アレルギーの対応も考慮してなるべく米を食べてもらうよう献立にも反映したところであるが、米の価格上昇など日々の消費者物価指数や価格改定に神経を尖らせている状況であるため、委員の皆様にも情報を共有させていただいた。 次回運営委員会は令和8年1月下旬または2月上旬頃を予定している。開催日が決まり次第別途お知らせする。
佐藤課長	5 閉会あいさつ